

# 4 授 業

## 1. 授業科目・単位等

各専攻または共通に開講されている授業科目および単位数は「科目配当表」(P 85～参照)掲載のとおりです。

## 2. 学 期

前学期：4月1日から9月15日まで

後学期：9月16日から翌年3月31日まで

## 3. 授業時間

### 昼間授業

時 限	時 間
1 時 限	9 : 30 ~ 11 : 00
2    "	11 : 10 ~ 12 : 40
3    "	13 : 30 ~ 15 : 00
4    "	15 : 10 ~ 16 : 40
5    "	16 : 50 ~ 18 : 20

### 夜間授業

時 限	時 間
1 時 限	18 : 30 ~ 20 : 00

※他キャンパスとの遠隔講義等においては、上記とは異なる時間帯にて講義を行うことがあります。

## 4. 休講・補講・集中講義

### (1) 休 講

学校行事を行う場合、科目担当教員の都合で授業が休講になる場合は、「DENDAI－UNIPA」により連絡します。

また、地震などの自然災害により不測の事態が発生した場合は、その都度指示します。

### (2) 補 講

授業回数が不足した場合には、補講を行います。補講の有無は科目担当教員によって指示され、日程は、授業中または「DENDAI－UNIPA」により連絡します。

### (3) 集中講義

授業科目によっては、授業期間外に集中して授業を行うことがあります。この場合は授業時間割表にその旨が書いてあります。

なお、詳細な日程については、決まり次第、「DENDAI－UNIPA」により連絡します。

## 5. 教科書

各授業で使用する教科書は、シラバス（「DENDAI－UNIPA」操作マニュアルP 13参照）を参照してください。未定となっている場合は、授業の時に科目担当教員より指示がありません。

なお、教科書は校内売店にて取り揃えています。

## 6. 東武東上線のストライキおよび自然災害などによる授業の取り扱い

東武東上線がストライキで運休した場合の授業の取り扱いは、次のとおりです。

- (1) 午前6時のNHKニュースにおいて運休の場合は、午前中の授業は休講。
- (2) 午前9時のNHKニュースにおいて運休の場合は、午後の授業も休講（終日休講）。

なお、地震、台風などの自然災害により不測の事態が発生した場合の取り扱いは、その都度指示します。

## 7. 授業置換え日

Happy Monday 等による授業日数の不足を補うため、他の曜日に授業置換え日として月曜日の授業を行う場合があります。学生要覧の始めに記載されている〔理工学研究科主要行事日程〕、または「DENDAI－UNIPA」により、あらかじめ確認してください。

## 8. e-Campus 科目について

e-Campus 科目とは、東京電機大学における新しい教育形態として、多彩な勉学機会を提供するため、東京千住キャンパス、埼玉鳩山キャンパス、千葉ニュータウンキャンパスを高度化ネットワークシステムで結び、遠隔講義で開講する科目です。

大学院での開講科目は「MOT 概論」、「MOE 概論」となっていますが、詳細については、「DENDAI－UNIPA」により周知しますので、必ず確認してください。

## 5 カリキュラムの変更等により、在学途中で履修条件が変更された場合の措置

### 1. 配当期、必修・選択条件が変更された場合

原則として当該年度に定められた授業科目配当表の条件が適用されますが、例外が起こる事もあります。必ず最新の科目配当表で確認してください。

### 2. 授業科目・単位数が変更された場合

単位を取得した年度の授業科目・単位が適用されます。

## 6 試験及び成績評価

1. 試験を実施する場合は、原則としてその授業の終了する学期末に行われます。授業科目によっては、平常の成績またはレポート、口頭試問等をもって試験に代えることがあります。なお、試験は履修申告した授業科目以外受験することはできません。

### 2. 成績評価

成績はS・A・B・CおよびDの評価で表記されます。

成績評価は次の評点に対応します。

S・・・90点以上	}	合格（単位取得）
A・・・80～89点		
B・・・70～79点		
C・・・60～69点		
R・・・認定された科目		
D・・・59点以下		不合格
－・・・放棄		

### 3. GPA (Grade Point Average) について

平成 13 年度より、本研究科では、GPA 制度を採用しております。

GPA とは、科目を履修して最終的に与えられた S・A・B・C・D の評点 (Grade) に 4～0 のポイント (Point) を配当しそれに単位数を掛け、取得したポイントの合計と単位数をもとに算出する平均値 (Average) です。認定科目 (R 評価) は計算の対象外です。

そのポイントと計算式は以下のように、GPA の最高値は “4” となり、最高値に近いほど評価が高くなります。

#### ・ポイント

ポイント (GP)	評 価 (成績通知書と同じ)	評 点
4 P	S	90 点～ 100 点
3 P	A	80 点～ 89 点
2 P	B	70 点～ 79 点
1 P	C	60 点～ 69 点
0 P	D	0 点～ 59 点
0 P	—	—

#### ・計算式

$$\text{GPA} = \frac{(\text{各科目の単位数} \times \text{当該科目で得たGP}) \text{の合計}}{\text{履修申告した科目の単位数の合計}}$$

- ※ GPA は、小数点第 4 位を四捨五入して小数点第 3 位まで表示する。
- ※ 自由科目・教職科目は含めない。
- ※ 履修中の科目は含めない。
- ※ 修了要件とならない科目は含めない。
- ※ GPA のポイントは成績証明書・成績通知書へ記載されます。
- ※ 順位計算に使用します。

D および放棄科目は 0 ポイントとなるため、GPA を下げることとなりますので、計画的な履修が望まれます。

## 7 修士課程の修了要件

修士課程を修了するためには、修士課程に2年以上在学し（在学期間については特例あり）、所要科目の単位を30単位以上取得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。

### 1. 修了単位

修士課程修了要件の30単位に必要な内訳は下記のとおりです。

(1) 専攻により定められている選択必修科目

- a. 理学専攻、生命理工学専攻、情報学専攻、電子・機械工学専攻にあっては、P. 85以降に記載の各専攻科目配当表の中から、\*印の全科目の単位取得または\*\*印の全科目の単位取得が必要です。
- b. 建築・都市環境学専攻にあっては、P. 107に記載の科目配当表の中から、\*印の全科目の単位取得が必要です。

(2) 選択必修科目の単位を含めて自分の専攻の科目の単位20単位以上

(3) 上記(1)、(2)以外の科目の単位（上記(2)の20単位の中には含まれません。）

- a. 修士課程共通科目の単位
- b. 他専攻の科目の単位
- c. 学部の授業科目の単位（ただし、学部3・4年次に配当されている専門教育科目で成績評価がB以上の科目の単位）
- d. P66の6-1、6-2に掲載した、特例扱い（その1）、特例扱い（その2）の科目の単位のうち、当研究科委員会が認めた単位

### 2. 在学期間についての特例

修士課程を修了するためには2年以上在学することが必要ですが、優れた業績をあげた者は、1年以上の在学で修了することができます（大学院学則第20条1項）。

修了要件は2年以上在学の場合と同一ですが、加えて、在学期間中の当該専攻において定められている選択必修科目の単位を取得していることが条件となります。

### 3. 早期修了要件について

「優れた業績をあげた者」については、1年間もしくは1.5年間の在学期間での修了を認める。全専攻において早期修了を希望する学期の開始前までに手続きを行い、以下のすべての条件を充足した学生について早期修了を認める。

- (1) 1年間終了時、もしくは1.5年間終了時に修了することを希望していること。
- (2) 入学後の1年間もしくは1.5年間で、各専攻が定める要件を満たす所要科目30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の最終試験に合格すること。
- (3) 修士論文の成績評価が「S」であること。また、学術論文誌、学会誌等に1編以上の学術論文（査読付）の採録が確定していること。
- (4) 研究指導教員、専攻主任および研究科委員長が早期修了に相応しいと判断した者。

## 8 他大学院との単位互換協定に基づく授業科目履修の扱い

理工学研究科では、首都大学院コンソーシアム、東京理工系4大学および東洋大学大学院理工学研究科と単位互換協定を結んでいます。

本協定により、希望者は所定の手続をとることにより各大学院の授業科目を受講することができます（首都大学院コンソーシアムの大学院は有料）。これにより取得した単位は、本学理工学研究科委員会が教育上有益と認めた場合、その取得した単位のうち10単位を超えない範囲で、理工学研究科における授業科目の履修により取得したものとみなされます（大学院学則第15条）。この協定に基づく履修手続の詳細は随時「DENDAI－UNIPA」によりお知らせします。

### 協定大学

#### 【首都大学院コンソーシアム】

共立女子大学大学院	順天堂大学大学院	専修大学大学院	玉川大学大学院
中央大学大学院	東京理科大学大学院	東洋大学大学院	日本大学大学院
法政大学大学院	明治大学大学院		

#### 【東京理工系4大学】

工学院大学大学院	芝浦工業大学大学院	東京都市大学大学院
----------	-----------	-----------

#### 【東洋大学大学院】

東洋大学大学院 理工学研究科



# 9 学 位

## 1. 理工学研究科が授与できる学位の種類

本研究科を修了した者については、大学院学則、本学学位規程の定めるところにより、修士の学位が授与されます。

本研究科が授与できる学位の種類およびそれに付記する専攻分野は次のとおりです。

### 修 士 課 程

理 学 専 攻	修士（理学）
生 命 理 工 学 専 攻	修士（工学）
情 報 学 専 攻	修士（情報学）
電 子 ・ 機 械 工 学 専 攻	修士（工学）
建 築 ・ 都 市 環 境 学 専 攻	修士（工学）

## 2. 修士の学位

修士課程の所定の修了要件を充たし、研究成果をまとめた修士論文審査に合格すれば、修士課程の修了が認定され修士の学位が授与されます。修士論文および修士論文要旨の提出手続等は次のとおりです。詳しくは掲示でお知らせします。

### (1) 修士論文

- 2年次に、作成予定の修士論文のタイトルを Web を使用したシステムで入力します。  
詳細は掲示により指示します。
- 修士論文の体裁、提出部数、提出期限等は専攻によって異なります。指導教員に問い合わせ、指示に従ってください。
- 大学保存用「修士論文」1部を PDF ファイルに変換した CD-ROM 等で所定期日までに後日連絡する指定場所に提出してください。この論文は大学で CD-ROM に編集し、保存公開いたします。

### (2) 修士論文要旨

各論文の要旨を A4 版 4 ページにまとめたものを提出してください。修士論文要旨集として刊行しております。この要旨集の作成は日程的に切迫しておりますので、充分注意して指示に従ってください。

# 10 教育職員免許状

## 1. 取得することのできる教育職員免許状

教育職員免許状には学部卒業を基礎資格とする「1種免許状」と大学院修士課程修了を基礎資格とする「専修免許状」があります。本研究科修士課程の専攻を修了することにより次の免許教科の専修免許を取得することができます。

専攻	取得できる免許状の種類および教科	
理学	中学校教諭専修免許状「数学」、「理科」	高等学校教諭専修免許状「数学」、「理科」
生命理工学	中学校教諭専修免許状「理科」	高等学校教諭専修免許状「理科」
情報学	中学校教諭専修免許状「数学」	高等学校教諭専修免許状「数学」、「情報」
電子・機械工学		高等学校教諭専修免許状「工業」
建築・都市環境学		高等学校教諭専修免許状「工業」

## 2. 専修免許状取得に必要な資格・条件等

次の2つの条件を満たさなくてはなりません。

- (1) 修士課程修了者または修士課程に1年以上在学し修士課程修了見込みの資格を有する者。
- (2) すでに、同一教科の「中学校教諭1種免許状」または「高等学校教諭1種免許状」を取得しているか、または免許状を取得してはいないが取得に必要な単位を取得済みであること。

中学校教諭1種免許状、高等学校教諭1種免許状については、学部の学生要覧を参照してください。

※1種免許状に必要な単位を取得していない場合はP 79 参照

### 3. 専修免許状取得に必要な単位

それぞれの免許教科に係わる科目の単位が 24 単位以上必要です。

どの授業科目が教科科目の単位として認定されるかは次によります。

#### (1) 「数学」の専修免許取得に必要な単位

理学専攻及び情報学専攻で開設されている授業科目で、科目配当表の教職コードが「数学」である科目の単位は、中学校教諭専修免許状「数学」及び高等学校教諭専修免許状「数学」を取得するために必要な 24 単位の中に算入されます。

#### (2) 「工業」の専修免許取得に必要な単位

電子・機械工学専攻、建築・都市環境学専攻で開設されている授業科目で、科目配当表の教職コードが「工業」である科目の単位は、高等学校教諭専修免許状「工業」を取得するために必要な 24 単位の中に算入されます。

#### (3) 「情報」の専修免許取得に必要な単位

情報学専攻で開設されている授業科目で、科目配当表の教職コードが「情報」である科目の単位は、高等学校教諭専修免許状「情報」を取得するために必要な 24 単位の中に算入されます。

#### (4) 「理科」の専修免許取得に必要な単位

理学専攻、生命理工学専攻で開設されている授業科目で、科目配当表の教職コードが「理科」である科目の単位は、中学校教諭専修免許状及び高等学校教諭専修免許状「理科」を取得するために必要な 24 単位の中に算入されます。

### 4. 免許状申請手続

#### (1) 一括申請（修士課程修了時に専修免許状を取得）

10 月中旬に修士課程修了見込者で免許取得希望者を対象として、申請手続きの説明会を開催しています。免許取得希望者は必ず出席し、申請用紙の交付を受け必要な説明を受けてください。

大学で免許取得希望者の手続を一括して埼玉県教育委員会に申請し、修了式の当日に各自へ教育職員免許状を交付します。

#### (2) 個人申請

修士課程修了後に個人で教育職員免許状を取得することもできます。住所地の都道府県教育委員会に問い合せ、必要な手続を行ってください。

## 5. 学部で1種教育職員免許状取得に必要な単位を取得していない者、又は学部で1種教育職員免許状取得に必要な単位を取得していても免許状をもっていない者

学部段階で1種教育職員免許状取得に必要な単位を取得していない者であっても、修士課程で教育職員免許状を取得する道があります。いろいろなケースがありますので、学年始めに必ず教務担当窓口にて個別に相談してください。

また、学部在学中に適用となっていた免許法が何らかの改正等で変わることがあります。その場合は取得しなくてはならない科目が増えたりすることもありますので注意してください。

# 11 建築士

## ◇建築士の受験資格について

一級建築士・二級建築士・木造建築士を受験するためには、一定の基準を満たして単位を修得し、大学等を卒業した後、定められた年数以上の実務経験を経なければなりません。本学理工学研究科デザイン工学専攻では、以下に示す条件を満たすことにより、大学院の課程において修得した科目を実務経験1年に相当するものとして認定し、申請により証明書を発行します。

## 条 件

インターンシップおよびインターンシップ関連科目を総単位数 15 単位以上修得のこと  
15 単位に含めることができる科目の所要単位数は以下の通りとする

- 1) インターンシップを 4 単位以上修得のこと
- 2) インターンシップ関連科目（演習・実験・実習）は 8 単位を上限として総単位数に含めることができる
- 3) インターンシップ関連科目（講義）は 8 単位を上限として総単位数に含めることができる

## 指定科目（括弧内の数字は単位数を示す）

インターンシップ：建築インターンシップ(4)

インターンシップ関連科目（演習・実験・実習）：建築設計演習 A(4)、建築設計演習 B(4)

インターンシップ関連科目（講義）：建築設計論(2)、建築空間論(2)、構造設計論(2)、  
振動論(2)

# 12 留 学

本学では、学生諸君が海外の協定校等での語学研修や留学プログラムに参加することを、推奨しています。3週間程度の語学研修から1年未満の留学までさまざまな形態があるので、事前の準備等も含めて計画的に検討するようにしてください。

## (1) 留学・海外語学研修の種類

### ①英語短期研修

海外協定校にて実施されている英語短期研修プログラムは以下のとおりです。各大学の語学教師による少人数教育であり、所定の成績を修めれば、「海外短期英語研修」の単位として認定されます。

1) コロラド大学ボルダー校（米国）：8月に実施（約3週間）、募集は5月頃

### ②協定校留学

本学と外国の大学との学生交流協定によって留学する制度です。協定校への留学に関する要望については個別に対応していますので、国際センターに問い合わせをしてください。

### ③認定校留学

留学希望者本人が外国の大学等から留学または受入れ許可を取り、本学がこれを許可し、留学する制度です。

\*本学では学生諸君が在学中に海外の大学に留学することを制度として認めています。留学とは外国の大学またはこれに相当する高等教育機関に一定期間在学して教育を受けることを言います。事前に所定の申請手続きを行い留学と認められる必要があり、事前の許可を受けずに渡航したり、大学の正規教育課程以外のコースで学んだりしても、本学からの留学とは認められないので注意すること。

## (2) 留学・海外語学研修への参加にあたり

留学や海外語学研修に関する相談については、国際センターで随時対応しています。

### ①海外語学短期研修

これまでに語学研修の募集要項や参加した学生の報告を国際センターで閲覧できるので、準備にあたってはこれらを参考にしてください。

## ②留学

長期の留学を希望する場合には、語学力の向上を含めた準備が重要ですので十分に留意してください。特に英語圏に留学する場合は、TOEFL (Test of English as a Foreign Language)の受験とそのスコアカードが必要です。留学先により基準となる点数があり、それを満たすためには通常半年から1年の準備期間が必要です。

また留学予定先大学等において履修を希望する授業科目や本学の履修などについて、留学前に専攻および理工学部事務部（教務担当）の履修指導を受けてください。

## (3) 国際センターについて

国際センター鳩山ブランチ（場所：12号館 12128号室 10時～17時／月～金）

「国際センター鳩山ブランチ」では、常駐するスタッフに留学や大学生活について相談できるだけでなく、留学生と日本人学生が交流できるスペースを設けています。是非気軽にお越しください。

## 13 先端科学技術研究科博士課程（後期）進学

先端科学技術研究科博士課程（後期）に進学を希望する者は、できるだけ多くの科目を幅広く履修しておくことが望めます。

なお、被推薦資格等については、先端科学技術研究科博士課程（後期）学内推薦入試募集要項を参照してください。

先端科学技術研究科一覧〔博士課程（後期）8専攻〕

専攻	課程	昼夜開講	修業年限	学位
数理学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（理学）
電気電子システム工学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（工学）
情報通信メディア工学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（工学）
機械システム工学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（工学）
建築・建設環境工学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（工学）
物質生命理工学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（工学）・博士（理学）
先端技術創成専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（工学）・博士（理学）
情報学専攻	博士課程（後期）	●	3年	博士（情報学）



はじめに
UNIPA
<b>履修の手引き</b>
教員一覧・科目配当表
学生生活
メディアセンター
キャンパス案内図
学則・規程

## 第3章

# 教員一覧及び科目配当表

はじめに
UNIPA
履修の手引き
<b>教員一覧・科目配当表</b>
学生生活
メディアセンター
キャンパス案内図
学則・規程

# ① 修士課程 共通科目

平成 25 年度 修士課程 共通科目 担当表

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部 門	25 年度開講	26 年度開講予定	授 業 科 目 名	単 位 数		毎 週 授 業 時 限 数		担 当 教 員 名	備 考	教 職 コー ド	
				必 修	選 択	前 期	後 期				
5 専攻共通科目	○		理 工 学 特 論 A		2	1		川 井 悟 他			
		○	理 工 学 特 論 B		2	1		川 井 悟 他			
		●	●	ハ イ オ メ テ ィ カ ル ・ エ ン シ ニ ア リ ン ク 概 論		2		1	福 井 康 裕	公開講座「ME講座」の修了証をもって単位認定を行う。	
		●	●	M O T 概 論		2		1	柏 崎 尚 也 他	科目担当者変更	
		●	未	M O E 概 論		2	1		村 勢 則 郎 他		
		○	○	科 学 英 語		2		1	碓 ・ 松 平 (兼 任)	単位数変更	

はじめに

UNIPA

履修の手引き

教員一覧・科目担当表

学生生活

メディアセンター

キャンパス案内図

学則・規程

## ② 理学専攻

Science

# 理学専攻 教員一覧

教育・研究部門	氏名	職名	現在の研究テーマ
数理科学部門	荒牧 淳一*	教授	関数解析学、偏微分方程式論
	大塚 尚久*	教授	システム理論、制御理論
	勝野 裕文*	教授	人工知能、知識表現、データベース
	☆狩野 弘之*	教授	自律ロボット、資格情報解析、曲線曲面の設計論
	中野 哲夫*	教授	射影多様体への群作用、不変式論、代数曲線のモジュライ空間
	碓 文夫*	教授	楕円曲線論、ホッジ理論
	山形 周二	教授	ガロア表現、形式群
	石原 聖司*	准教授	強化学習、画像情報処理、ニューラルネットワーク
	越智 禎宏*	准教授	楕円曲線の数論
	小黑 隆	講師	微分幾何学
	高橋 秀慈	講師	偏微分方程式論
日高 章理	助教A	統計的パターン認識と機械学習の研究	
物質科学部門	小川 英生*	教授	生命化学物質の溶媒和に関する熱力学的研究、生命および環境化学物質を含む溶液の物性論的研究、超臨界流体の熱力学的研究
	小田垣 孝*	教授	非平衡系、複雑系、不規則系を中心とする物性理論
	隅山 兼治*	特任教授	ナノ粒子、薄膜の構造と物性、物質の磁気的性質
	井上 真	准教授	統計物理学、磁性体のスピン模型
	類家 正稔	准教授	多孔性固体による物質の吸着
	山室 憲子*	准教授	溶液およびソフトマテリアルのダイナミクスと熱力学的研究
	向山 義治	講師	燃料電池の電極触媒の研究、水の電気分解の研究、化学振動の研究
	足立 直也	助教A	機能性有機・高分子化合物の創出と物性に関する研究

☆専攻主任 \*：研究指導を受けることができる教員

平成25年度 修士課程 理学専攻 科目配当表(1/2)

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部門	25年度開講	26年度開講予定	授業科目名	単位数		毎週授業時限数		担当教員名	備考	教職コード	
				必修	選択	前期	後期				
数 理 科 学	○		解析学 A		2	1		荒牧 淳一		数学	
	●		解析学 B		2	1		荒牧 淳一		数学	
	○		代数学 A		2		1	山形 周二		数学	
	●		代数学 B		2	1		山形 周二		数学	
	○		幾何学 A		2		1	小黒 隆		数学	
	○		幾何学 B		2		1	小黒 隆		数学	
	○		解析学特論 A		2	1		高橋 秀慈		数学	
	○		解析学特論 B		2	1		高橋 秀慈		数学	
	○		代数幾何学特論 A		2		1	越智 禎宏		数学	
	○		代数幾何学特論 B		2		1	越智 禎宏		数学	
	○		代数学特論 A		2	1		中野 哲夫		数学	
	○		代数学特論 B		2	1		中野 哲夫		数学	
	○		離散幾何学 A		2		1	碓 文夫	新設科目	数学	
	○		離散幾何学 B		2		1	碓 文夫	新設科目	数学	
	○		数理システム理論		2		1	大塚 尚久	情報学専攻と同時開講 新設科目	数学	
	○		ロバーストシステム理論		2		1	大塚 尚久	情報学専攻と同時開講 新設科目	数学	
	○	○	情報数学		2	1		勝野 裕文	情報学専攻と同時開講 新設科目	数学	
	○		人工知能		2		1	勝野 裕文	情報学専攻と同時開講 新設科目	情報	
	○	○	応用代数学		2	1		狩野 弘之	情報学専攻と同時開講	数学	
	○		確率システム理論		2		1	狩野 弘之	情報学専攻と同時開講 新設科目	数学	
	○	○	確率過程論		2	1		佐藤 定夫 (兼担)	情報学専攻と同時開講	数学	
	○	○	情報理論		2	1		町原 文明 (兼担)	情報学専攻と同時開講 新設科目	情報	
	○		計算機ネットワーク特論		2		1	藤本 衛 (兼担)	情報学専攻と同時開講 新設科目	情報	
	○		計算量理論特論		2	1		築地 立家 (兼担)	情報学専攻と同時開講 新設科目	数学	
	○		情報数理特論		2	1		徳田 太郎 (兼担)	情報学専攻と同時開講 新設科目	数学	
	○		応用確率統計特論		2	1		石原 聖司	新設科目	数学	
	○	○	数理科学セミナー I		*1	0.5	0.5	荒牧・小黒・越智・高橋・中野・碓・山形 ・大塚・勝野・狩野・石原・日高	1年次履修	**印の科目と 同時履修不可	数学
	○	○	数理科学セミナー II		*1	0.5	0.5		2年次履修		数学
	○	○	数理科学特別研究 I		*4	2	2		1年次履修		数学
	○	○	数理科学特別研究 II		*4	2	2		2年次履修		数学

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得 または \*\*印から全科目取得のこと



平成25年度 修士課程 理学専攻 科目配当表(2/2)

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部門	25年度開講	26年度開講予定	授業科目名	単位数		毎週授業時間数		担当教員名	備考		教職コード		
				必修	選択	前	後						
物質科学	○		溶液化学		2		1	小川英生			理科		
	○	○	物性化学特論		2	1		山室 薫子	生命理工学専攻と同時開講		理科		
	○	○	反応化学特論		2	1		向山 義治			理科		
	○	○	界面化学特論		2		1	類家 正徳	生命理工学専攻と同時開講		理科		
		○	固体物性物理学特論		2	1		隅山 兼治(特任)	生命理工学専攻と同時開講 科目名称変更(旧「固体物性物理学」)		理科		
	○		物理学特論 A		2	1		井上・小田垣・隅山(特任)	物質科学特論 I, II と同時履修不可			理科	
	○		物理学特論 B		2		1	井上・小田垣・隅山(特任)				理科	
	●		物理学特論 C		2	1		井上・小田垣・隅山(特任)				理科	
	●		物理学特論 D		2		1	井上・小田垣・隅山(特任)				理科	
	○	○	物質科学 輪講 I		2	1	1	小川・向山・山室・類家・足立	1年次履修	物理学特論A-Dと同時履修不可		理科	
	○	○	物質科学 輪講 II		2	1	1	小川・向山・山室・類家・足立	2年次履修			理科	
	○	○	物質科学 セミナー I		**1	0.5	0.5	井上・小川・小田垣・足立 隅山(特任)・向山・山室・類家	1年次履修	*印の科目と同時履修不可		理科	
	○	○	物質科学 セミナー II		**1	0.5	0.5				2年次履修		理科
	○	○	物質科学 特別研究 I		**4	2	2				1年次履修		理科
○	○	物質科学 特別研究 II		**4	2	2			2年次履修			理科	
共通科目	○	○	数理科学 基礎		2	1		碓 文夫			数学		
	●		化学 熱力学 特論		2		1	小川英生	生命理工学専攻と同時開講		理科		
	○		統計物理学 特論		2		1	小田垣 孝			理科		
	○		数理物理学		2	1		井上 真			理科		
	○	○	理学インターンシップ		2	半期2コマ		狩野 弘之	集中講義科目 担当者変更				
廃止科目			応用解析学										
			非線形現象の科学										

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得 または \*\*印から全科目取得のこと

# ③ 生命理工学専攻

Life Science and Engineering

## 生命理工学専攻 教員一覧

教育・研究部門	氏名	職名	現在の研究テーマ
生命科学部門	川井 悟*	教授	がん細胞増殖抑制物質の構造活性相関に関する研究、酵素阻害物質の構造活性相関に関する研究、多剤耐性化阻害物質の探索的合成研究
	☆田中 真人*	教授	小胞体におけるタンパク質の品質管理機構、抗体の高度利用法に関する研究
	長原 礼宗*	准教授	細胞死・細胞分化の誘導機構の研究、抗癌剤の作用機序の研究、自然免疫機構の研究
	村松 和明*	准教授	骨・軟骨組織の再生、体性幹細胞の分化制御と細胞移植療法、機能性生体材料の開発に関する研究
生物環境部門	栗山 昭*	教授	植物培養細胞の超低温保存、組織培養による植物の生産、植物細胞の低温・乾燥耐性
	椎葉 究*	教授	小麦グルテニンサブユニットやアラビノキシランの構造と機能に関する研究、バイオレメディエーション技術と微生物フローラの遺伝子解析に関する研究
	村勢 則郎*	教授	高分子ゲル中の水のキャラクタリゼーション、クモの糸の水核活性とその利用、線虫の凍結保存
	山名 昌男*	教授	植物における成長と品質に及ぼす電磁場エネルギー（磁場・振動）、力学エネルギー（超音波・音波）、光エネルギー（赤外光）の効果

☆専攻主任 \*：研究指導を受けることができる教員

はじめに

UNIPA

履修の手引き

教員一覧・科目配当表

学生生活

メディアセンター

キャンパス案内図

学則・規程

平成25年度 修士課程 生命理工学専攻 科目配当表

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部門	25年度開講 26年度開講予定	授業科目名	単位数		毎週授業 時間数	担当教員名	備考	教職 コード	
			必修	選択					
生命 科学	●●	生 理 活 性 有 機 化 合 物 論	2	1	1	川 井 悟		理 科	
	●	化 学 熱 力 学 特 論	2	1	1	小 川 英 生 (兼 担)	理 学 専 攻 と 同 時 開 講	理 科	
	○○	界 面 化 学 特 論	2	1	1	廣 家 正 敏 (兼 担)	理 学 専 攻 と 同 時 開 講	理 科	
	○○	物 性 化 学 特 論	2	1	1	山 室 憲 子 (兼 担)	理 学 専 攻 と 同 時 開 講	理 科	
	○	固 体 物 性 物 理 学 特 論	2	1	1	隅 山 兼 治 (兼 担)	理 学 専 攻 と 同 時 開 講 科 目 名 称 の 変 更 (旧「固 体 物 性 物 理 学」)	理 科	
	○○	生 体 組 織 工 学	2	1	1	村 松 和 明	科 目 名 称 変 更 (旧「生 体 高 次 機 能 学」)	理 科	
	○○	生 体 シ ス テ ム 科 学	2	1	1	長 原 礼 奈		理 科	
	○○	生 命 科 学 セ ミ ナ ー I	*1	0.5	0.5	川 井 ・ 田 中 ・ 長 原 ・ 村 松	1 年 次 履 修 新 設 科 目	**印 の 科 目 と 同 時 履 修 不 可	理 科
	○○	生 命 科 学 セ ミ ナ ー II	*1	0.5	0.5		2 年 次 履 修 新 設 科 目		理 科
	○○	生 命 科 学 特 別 研 究 I	*4	2	2		1 年 次 履 修 新 設 科 目		理 科
○○	生 命 科 学 特 別 研 究 II	*4	2	2	2 年 次 履 修 新 設 科 目		理 科		
生 物 環 境	○○	低 温 生 物 工 学	2	1	1	村 勢 則 郎		理 科	
	○○	食 品 バ イ オ 工 学	2	1	1	椎 葉 究		理 科	
	○○	環 境 生 物 学	2	1	1	片 桐 千 仞 (兼 任)		理 科	
	○○	植 物 環 境 工 学	2	1	1	山 名 昌 男		理 科	
	●	未 植 物 細 胞 工 学	2	1	1	栗 山 昭		理 科	
	○○	生 物 環 境 セ ミ ナ ー I	**1	0.5	0.5	栗 山 ・ 村 勢 ・ 山 名 ・ 椎 葉	1 年 次 履 修 新 設 科 目	**印 の 科 目 と 同 時 履 修 不 可	理 科
	○○	生 物 環 境 セ ミ ナ ー II	**1	0.5	0.5		2 年 次 履 修 新 設 科 目		理 科
○○	生 物 環 境 特 別 研 究 I	**4	2	2	1 年 次 履 修 新 設 科 目		理 科		
○○	生 物 環 境 特 別 研 究 II	**4	2	2	2 年 次 履 修 新 設 科 目	理 科			
共 通 科 目	○●	分 子 細 胞 生 物 学	2	1	1	田 中 眞 人	科 目 名 称 変 更 (旧「細 胞 分 子 生 物 学」)	理 科	
	○○	生 理 化 学	2	1	1	四 宮 貴 久 (兼 任)	集 中 講 義	理 科	
	○●	臨 床 医 学	2	1	1	宮 脇 富 士 夫 (兼 担)	電 子 - 機 械 工 学 専 攻 と 同 時 開 講	理 科	
	○○	生 命 理 工 学 イ ン タ ー シ ッ プ	2	半 期 2 コ マ		川 井 悟	集 中 講 義		
廃 止 科 目		非 線 形 現 象 の 科 学							
		生 命 ・ 環 境 科 学 セ ミ ナ ー I							
		生 命 ・ 環 境 科 学 セ ミ ナ ー II							
		生 命 ・ 環 境 科 学 特 別 研 究 I							
		生 命 ・ 環 境 科 学 特 別 研 究 II							
		生 体 医 工 学 セ ミ ナ ー I							
		生 体 医 工 学 セ ミ ナ ー II							
		生 体 医 工 学 特 別 研 究 I							
		生 体 医 工 学 特 別 研 究 II							
		応 用 電 磁 気 学							
		情 報 計 測 工 学							
		画 像 情 報 工 学							
		情 報 回 路 設 計							
		産 業 電 子 工 学							
		医 療 ・ 福 祉 用 ロ ボ ッ ト 工 学 特 論							
		シ ス テ ム 制 御 論							
		生 体 材 料 工 学							
	医 用 福 祉 工 学								
	医 用 工 学								
	生 体 治 療 機 械 シ ス テ ム 特 論								
	生 体 情 報 工 学								

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得 または \*\*印から全科目取得のこと

はじめに
UNIPA
履修の手引き
<b>教員一覧・科目配当表</b>
学生生活
メディアセンター
キャンパス案内図
学則・規程

# ④ 情報学専攻

Informatics

## 情報学専攻 教員一覧

教育・研究部門	氏名	職名	現在の研究テーマ
情報システム部門	佐藤 定夫*	教授	マルコフ過程論、ソフトウェアシステム
	☆陳 致中*	教授	アルゴリズムの理論、計算量の理論、バイオインフォマティクス
	中村 克彦*	教授	オートマトン理論、形式言語、論理プログラミング、人工知能
	町原 文明*	教授	通信理論、待ち行列理論、トラヒック理論
	細村 宰	特任教授	衛星画像の土地被覆分類、カメラを用いた3D画像計測、CGを用いた情報の可視化に関する研究
	三井 浩康*	特任教授	組込みシステム、M2Mシステム、遠隔教育方式
	築地 立家*	准教授	計算理論、ゲームプログラミング
	藤本 衡	准教授	計算機ネットワーク、システム性能評価
	松浦 昭洋	准教授	アルゴリズム論、ゲーム情報学、情報可視化
	泉 智紀	准教授	制御工学、通信技術を用いた人の動態観測
	徳田 太郎	講師	グラフ理論、組み合わせ論
情報デザイン部門	上浦 基	助教A	ソフトコンピューティング、データマイニング、複雑系科学
	石塚 正英*	教授	身体に関する複合科学的研究、フェティシズムに関する比較文明論的研究、情報社会に関する社会思想史的研究
	市野 学*	教授	パターン認識、シンボリック・データ・アナリシス、データマイニング
	柏崎 尚也*	教授	感性パラメータにより芸術作品等の感性評価、ミュージックパズルの研究、新しい表示デバイスの開発研究
	小林 春美*	教授	環境と人間の言語・認知の関係についての研究、言語発達における環境情報の役割に関する研究
	山口 正二*	教授	認知や動機づけに関する研究、学校教育における生徒と教師の心理的距離、教師の聖職性に関する実証的研究
	若松 征男	教授	科学技術政策形成過程への参加型システムの組み込みの研究、参加型手法の研究
	磯野 春雄*	特任教授	人にやさしい情報メディア、情報のバリアフリーデザイン、立体映像システム
	中山 洋*	准教授	高等学校対応のグループウェアの開発、VRを用いた深層心理アナライザーの開発、香り(アロマ)と作業効率の関係
高橋 達二	助教A	内部観測、対称性推論、音楽情報科学	

☆専攻主任 \*：研究指導を受けることができる教員

平成25年度 修士課程 情報学専攻 科目配当表 (1/2)

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部門	25年度開講	26年度開講予定	授業科目名	単位数		毎週授業時間数		担当教員名	備考	教職コード	
				必修	選択	前期	後期				
情報システム	○	○	組込みシステム特論		2	1		三井浩康(特任)		情報	
		○	論理プログラミング		2		1	中村克彦		情報	
	●	●	制御系設計論		2	1		泉智紀	新設科目	情報	
	○	○	ゲームとシミュレーション		2		1	佐藤定夫		情報	
	○	○	情報理論		2	1		町原文明	理学専攻と同時開講	情報	
		○	確率ネットワーク特論		2		1	藤本 衝	科目名称の変更	数学	
	●	●	応用サイバースペース論		2	1		細村 幸(特任)	担当者変更	情報	
	●	●	画像情報処理論		2	1		細村 幸(特任)		情報	
	○		計算量理論特論		2	1		築地立家	理学専攻と同時開講 科目名称の変更 (旧「アミューズメント・ソフトウェア特論A」)	数学	
		○	図形処理特論		2		1	松浦昭洋	科目名称の変更 (旧「アミューズメント・ソフトウェア特論B」)	数学	
	○		情報数理特論		2	1		徳田太郎	理学専攻と同時開講 科目名称の変更 (旧「アミューズメント・ソフトウェア特論C」)	数学	
	○	○	情報システムセミナーⅠ		*1	0.5	0.5	隙・中村・三井(特任)・佐藤・町原 ・築地・藤本・松浦・徳田・細村(特任) ・泉・上浦	1年次履修 新設科目	***印の科目と同時履修 不可	情報
	○	○	情報システムセミナーⅡ		*1	0.5	0.5		2年次履修 新設科目		情報
	○	○	情報システム特別研究Ⅰ		*4	2	2		1年次履修 新設科目		情報
○	○	情報システム特別研究Ⅱ		*4	2	2	2年次履修 新設科目		情報		
○	○	情報システム特別研究Ⅲ		*4	2	2			情報		
情報デザイン	○	●	感性工学特論		2		1	柏崎尚也		情報	
	●	●	データマイニング		2		1	市野 学		情報	
	●	●	ヒューマンインターフェース		2	1		石塚正英		情報	
	○	○	視覚情報工学特論		2	1		磯野 春雄(特任)		情報	
	●	●	情報コミュニケーション心理学		2		1	山口正二		情報	
	●	●	言語・非言語情報特論		2	1		小林春美	科目名称の変更	情報	
	○	○	科学技術社会論		2	1		若松征男	平成26年度は集中講義に開講形態変更予定		
	○	○	情報倫理学		2		1	中山 洋		情報	
	○	○	情報デザインセミナーⅠ		**1	0.5	0.5	石塚・市野・小林・中山・柏崎・山口 ・若松・磯野(特任)・高橋達(助教)	1年次履修 新設科目	*印の科目と同時履修 不可	情報
	○	○	情報デザインセミナーⅡ		**1	0.5	0.5		2年次履修 新設科目		情報
○	○	情報デザイン特別研究Ⅰ		**4	2	2	1年次履修 新設科目		情報		
○	○	情報デザイン特別研究Ⅱ		**4	2	2	2年次履修 新設科目		情報		

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得 または \*\*印から全科目取得のこと



平成25年度 修士課程 情報学専攻 科目配当表 (2/2)

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部門	25年度開講	26年度開講予定	授業科目名	単位数		毎週授業時間数		担当教員名	備考	教職コード
				必修	選択	前期	後期			
共通科目	○	○	応用代数学		2	1		狩野弘之(兼任)	理学専攻と同時開講	数学
	○	○	情報数学		2	1		勝野裕文(兼任)	理学専攻と同時開講	数学
	○	○	グラフ理論		2	1		伊東正安(兼任)		数学
	○	○	大規模ネットワーク理論		2	1		伊東正安(兼任)		数学
	○	○	システム設計論		2	1		森秀樹(兼任)		情報
	○	○	ソフトウェア開発工学特論		2	1		辻秀一(兼任)		情報
	○	○	情報産業論		2	1		小泉寿男(兼任)		情報
	○	○	計算機アーキテクチャ特論		2	1		小泉寿男(兼任)		情報
	○	○	計算機ネットワーク特論		2	1		藤本 衛	理学専攻と同時開講	情報
	○	○	ゲームと計算		2	1		築地立家		情報
	○	○	マルチメディア工学特論		2	1		(未定)		情報
	○	○	CADシステム特論		2	1		(未定)		情報
	○	○	アルゴリズム特論		2	1		陳 敦中		数学
	○	○	オートマトン		2	1		中村克彦		数学
	○	○	プログラム言語論		2	1		櫻井彰人(兼任)		情報
	○	○	コンパイラ理論		2	1		櫻井彰人(兼任)		情報
	○	○	確率過程論		2	1		佐藤定夫	理学専攻と同時開講	数学
	○	○	数理システム理論		2	1		大塚尚久(兼任)	理学専攻と同時開講 科目名称の変更 (旧「システム理論」)	数学
	○	○	ロバストシステム理論		2	1		大塚尚久(兼任)	理学専攻と同時開講 新設科目	数学
	●	○	データ工学特論		2	1		松垣博章(兼任)		情報
○	○	確率システム理論		2	1		狩野弘之(兼任)	理学専攻と同時開講	数学	
○	○	人工知能		2	1		勝野裕文(兼任)	理学専攻と同時開講	情報	
○	○	情報学インターシップ		2	半期2コマ		柏崎尚也	集中講義		
廃止科目			学習制御論							
			計算科学							
			応用解析学							
			数理情報・コンピュータ科学セミナーⅠ							
			数理情報・コンピュータ科学セミナーⅡ							
			数理情報・コンピュータ科学特別研究Ⅰ							
			数理情報・コンピュータ科学特別研究Ⅱ							
			アミューズメント・ソフトウェアセミナーⅠ							
			アミューズメント・ソフトウェアセミナーⅡ							
			アミューズメント・ソフトウェア特別研究Ⅰ							
			アミューズメント・ソフトウェア特別研究Ⅱ							
			ネットワーク・コミュニケーションセミナーⅠ							
			ネットワーク・コミュニケーションセミナーⅡ							
			ネットワーク・コミュニケーション特別研究Ⅰ							
		ネットワーク・コミュニケーション特別研究Ⅱ								

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得 または \*\*印から全科目取得のこと

# ⑤ 電子・機械工学専攻

Electronic and Mechanical Engineering

## 電子・機械工学専攻 教員一覧

教育・研究部門	氏 名	職 名	現 在 の 研 究 テ ー マ
応用電子工学部門	内川 義則*	教 授	脳磁図・心磁図の計測に関する研究、信号処理・画像処理システムの開発に関する研究
	☆羽根吉寿正*	教 授	電子制御工学、パワーエレクトロニクス、電動機駆動システム、環境エネルギー変換システムに関する研究
	舟久保昭夫*	教 授	循環器系人工臓器に関する研究、再生医工学に関する研究、生体計測システムに関する研究
	本間 章彦*	教 授	人工心臓システムに関する研究開発、人工心臓システムの性能・耐久試験に関する研究、人工心臓の制御方法に関する研究、人工臓器の解剖学的適合性評価技術に関する研究
	宮脇富士夫*	教 授	器械出し看護師ロボットシステムの開発・研究、遺伝子組換え支援技術の開発に関する研究、心収縮性に関する研究、心機能回復促進型補助人工心臓の開発、補助人工心臓が自己心に及ぼす影響の研究
	小畑 修二*	准教授	不規則性材料の電子構造の研究、電磁現象の解析とその応用に関する研究
	田中 慶太	准教授	高次脳機能に関する研究、BCI・BMIに関する研究、生体信号処理に関する研究
	大越 康晴	助教A	医療材料としての非晶質炭素膜の合成・評価に関する研究、プラズマCVD法による薄膜形成技術に関する研究
機械システム部門	樫村 幸辰*	教 授	冷凍チャックの開発、複合材料の金型への適用、工作機械の構造設計に関する研究
	内田 干城	教 授	皮膚の老化度の測定に関する研究、色測定による皮膚の診断に関する研究、筋ジストロフィー患者のためのTVゲームコントローラーの開発に関する研究、車椅子用クッションの蒸れの測定に関する研究
	遠藤 正樹*	准教授	内燃機関の排気系に関する研究、高温高圧配管の損傷に関する研究、超音速噴流に関する実験的研究
	大西 謙吾*	准教授	メカトロニクスデザイン、医療福祉ロボティクス、義肢装具技術に関する研究
	榊原 洋子	准教授	流れの可視化技術に関する技術
	武田 英次*	客員教授	半導体の開発および評価に関する研究、MOTシステムに関する研究
	立石 哲也*	客員教授	バイオニックデザインに関する研究
	中島 建夫	客員教授	技術開発システムの研究、生産システムの研究、多次元データ評価システムの研究

☆専攻主任 \*：研究指導を受けることができる教員

平成 25 年度 修士課程 電子・機械工学専攻 科目 配当表

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部 門	25年度開講	26年度開講予定	授 業 科 目 名	単 位 数		毎 週 授 業 時 限 取 得		担 当 教 員 名	備 考	教 職 コード	
				必 修	選 択	前 期	後 期				
応用電子工学	○	○	電 磁 場 計 測 論		2		1	内川 義 則		工 業	
	●		モーションコントロール特論		2	1		羽根 吉寿正		工 業	
		○	パワーエレクトロニクス特論		2		1	羽根 吉寿正		工 業	
	○	○	シ ス テ ム 制 御 論		2	1		福井 康裕(兼任)		工 業	
	○		生 体 情 報 工 学 特 論		2		1	舟久保・田中(慶)		工 業	
		○	生 体 材 料 工 学 特 論		2		1	舟久保・大越		工 業	
	○	●	臨 床 医 学		2	1		宮 脇 富 士 夫	生命理工学専攻と同時開講		
	●		数 値 解 析 工 学		2		1	小畑 修二		工 業	
	○		応 用 電 磁 気 学		2		1	小畑 修二		工 業	
	●	○	医 用 工 学		2		1	本間 章彦		工 業	
	○		産 業 電 子 工 学		2	1		富田 英雄(兼任)		工 業	
	○	○	情 報 回 路 設 計		2	1		星野 洋(兼任)		工 業	
	○	○	画 像 情 報 工 学		2		1	小池 洋(兼任)		工 業	
	○	○	応 用 電 子 工 学 セ ミ ナ ー I		*1	0.5	0.5	内川・羽根吉・舟久保・宮脇・小畑・本間・田中(慶)・大越	1年次履修	同じ部門のセミナーI・II、特別研究I・IIの単位を取得すること。 **印の科目と同時履修不可	工 業
	○	○	応 用 電 子 工 学 セ ミ ナ ー II		*1	0.5	0.5		2年次履修		工 業
○	○	応 用 電 子 工 学 特 別 研 究 I		*4	2	2	1年次履修		工 業		
○	○	応 用 電 子 工 学 特 別 研 究 II		*4	2	2	2年次履修		工 業		
機械システム	○		材 料 科 学 特 論		2		1	浅岡 照夫(兼任)		工 業	
	○		先 端 材 料 特 論		2		1	浅岡 照夫(兼任)		工 業	
	●	○	医 用 福 祉 工 学		2	1		内田 千城		工 業	
	○		工 作 機 械 シ ス テ ム 特 論		2	1		榎村 幸辰	集中講義	工 業	
	○	○	技 術 評 価 シ ス テ ム 特 論		2	1		角田 興俊(兼任)		工 業	
	○	○	インテリジェントシステム工学		2		1	角田 興俊(兼任)		工 業	
	○	●	熱 工 学 特 論		2	1		遠藤 正樹		工 業	
	○	●	気 体 力 学 特 論		2	1		榊原 洋子		工 業	
		○	ロ ボ ッ ト 工 学 特 論		2		1	大西 謙吾		工 業	
	●		機 能 設 計 工 学 特 論		2	1		大西 謙吾		工 業	
	○	○	航 空 宇 宙 工 学 特 論		2		1	久保田 弘敏(兼任)		工 業	
	○	○	福 祉 工 学 特 論		2	1		花房 昭彦(兼任)	集中講義	工 業	
	○	○	品 質 工 学 特 論		2		1	中島 達夫(客員)		工 業	
	○	○	機 械 シ ス テ ム セ ミ ナ ー I		**1	0.5	0.5	榎村・内田・遠藤・榊原・大西	1年次履修	同じ部門のセミナーI・II、特別研究I・IIの単位を取得すること。 *印の科目と同時履修不可	工 業
	○	○	機 械 シ ス テ ム セ ミ ナ ー II		**1	0.5	0.5		2年次履修		工 業
○	○	機 械 シ ス テ ム 特 別 研 究 I		**4	2	2	1年次履修		工 業		
○	○	機 械 シ ス テ ム 特 別 研 究 II		**4	2	2	2年次履修		工 業		
共通科目	○	○	バ イ オ メ カ ニ ク ス 特 論		2		1	立石 哲也(客員)			
	○	○	再 生 医 工 学		2	1		立石 哲也(客員)			
	○	○	L S I 工 学 特 論		2	1		武田 英次(客員)		工 業	
	○	○	技 術 と 経 営		2		1	武田 英次(客員)		工 業	
	○	○	電 子 ・ 機 械 工 学 イ ン タ ー ナ ー シ ッ プ		2	半期2コマ		内川 義 則	集中講義		

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得 または \*\*印から全科目取得のこと

はじめに
UNIPA
履修の手引き
<b>教員一覧・科目配当表</b>
学生生活
メディアセンター
キャンパス案内図
学則・規程

## ⑥ 建築・都市環境学専攻

Architectural, Civil and Environmental Engineering

## 建築・都市環境学専攻 教員一覧

教育・研究部門	氏名	職名	現在の研究テーマ
建築・都市環境学	有田 正光*	教授	湖沼・河川の水質改善、河口域の環境問題
	井浦 雅司*	教授	骨組およびシェル構造物の非線形解析
	岩城 和哉*	教授	建築および都市空間の形態分析
	高田 和幸*	教授	プロジェクト評価
	☆近津 博文*	教授	画像処理、画像計測、3Dモデリング、地理情報の空間分析
	中井 正則*	教授	水生植物群落の機能、風侵食現象の解明
	安田 進*	教授	地震時の地盤の液状化、斜面崩壊、地盤改良、ハザードマップ
	山崎 真司*	特任教授	構造物の耐震設計、鋼部材の塑性挙動
	見波 進*	准教授	鋼材・接合部の力学特性、既存建物の耐震性

☆専攻主任 \*：研究指導を受けることができる教員

平成25年度 修士課程 建築・都市環境学専攻 科目配当表

○:開講科目(昼) ●:開講科目(夜)

部門	25年度開講	26年度開講予定	授業科目名	単位数		毎週授業時間数		担当教員名	備考	教職コード
				必修	選択	前期	後期			
建築・都市環境学	○		応用水理学 A		2	1		中井正則		工業
	○		応用水理学 B		2	1		中井正則		工業
	○		環境流体力学 A		2		1	有田正光		工業
	○		環境流体力学 B		2		1	有田正光		工業
	○		流体力学特論		2		1	河井宏允(兼任)		工業
	●		弾性論		2		1	井浦雅司		工業
	●		有限要素法		2	1		井浦雅司		工業
	●		構造設計論		2	1		山崎真司(特任)		工業
	○		鋼構造学特論		2	1		山崎真司(特任)		工業
	○		振動論		2		1	大保直人(兼任)		工業
	○		鉄筋コンクリート工学特論		2	1		野田行衛(兼任)		工業
	○		メンテナンス工学特論		2		1	野田行衛(兼任)		工業
	○		地盤工学特論		2		1	安田進		工業
	●		地盤防災工学特論		2		1	安田進		工業
	○		地震防災工学特論		2		1	大保直人(兼任)		工業
	●		画像計測 A		2	1		近津博文		工業
	●		画像計測 B		2		1	近津博文		工業
	●		交通計画学特論		2	1		高田和幸		
	●		プロジェクト評価特論		2		1	高田和幸		工業
	○		建築空間論		2	1		岩城和哉		工業
	○		建築設計論		2	1		岩城和哉		工業
	○		建築設計演習 A		4	2		岩城和哉		工業
	○		建築設計演習 B		4	2		岩城和哉		工業
	○	○	建築インターンシップ		4	半期4コマ		岩城和哉		
	○	○	建築・都市環境学インターンシップ		2	半期2コマ		高田和幸	集中講義	
	○	○	建設環境デザイン工学セミナーⅠ		*1	0.5	0.5	有田・井浦・岩城・高田・近津・中井・安田・山崎(特任)・見波	1年次履修	工業
○	○	建設環境デザイン工学セミナーⅡ		*1	0.5	0.5	2年次履修		工業	
○	○	建設環境デザイン工学特別研究Ⅰ		*4	2	2	1年次履修		工業	
○	○	建設環境デザイン工学特別研究Ⅱ		*4	2	2	2年次履修		工業	

「\*」が付いている科目は選択必修科目。\*印から全科目取得のこと